



Integrity & Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

# ドリコム (証券コード:3793) Wizardry が収益牽引、業績底入れへ。

## GIR View

### ハイライト

ドリコムは2026年1月29日引け後に「2026年3月期 第3四半期決算」を発表した。四半期ベースで過去最高の売上高を計上し、第3四半期累計で営業利益・経常利益の黒字化を果たした。この結果、通期業績予想に示される大幅な営業・経常増益が射程に入った。ただし未定であった当期の配当は無配予想とされた。

業績の安定化の背景には、新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応を進めたこと、『Wizardry Variants Daphne』が1周年を迎える業績の主軸としての立ち位置を固めたこと、既存の重要なタイトルの収益も安定推移していること、新作立ち上げコストおよび不正課金対応が一服したこと、広告宣伝費の適正な運用体制が構築されたことがあげられる。

また、出版・アニメ事業の展開も着実である。刊行点数が着実に推移していることに加え、小説『汝、暗君を愛せよ』が「このライトノベルがすごい！2026」（宝島社）にて【新作単行本・ノベルズ部門】の第1位を獲得している。2026年1月からはアニメ『エリスの聖杯』が全国放送されている。

当面の注目点は、『Wizardry Variants Daphne』が言語追加（12月に韓国語を追加）およびコラボイベントによって盤石に推移すること、これに付随して「Wizardry」ブランドを中心としたIP戦略が収益基盤の盤石化につながること、既存運用タイトルの収益安定化が進むこと、コスト最適化が続くこと、出版・アニメ事業のIP展開が小説・コミック・アニメへマルチ展開し収益の底上げにつながることである。

こうした展開の先には「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換がある。次回決算では新たな中期成長イメージが財務目標とともに示されることを期待したい。

### KEY STATISTICS



DRECOM®  
with entertainment

#### 主要株価指標

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 直近株価(2026/1/29) | ¥420.00           |
| 52週高値・安値        | ¥1,064.00/¥392.00 |
| 発行済株数(除く自己株式)   | 28,929,817株       |
| 時価総額            | 12,150百万円         |
| PER(会社予想)       | -倍                |
| PBR             | 4.0倍              |
| PSR(会社予想)       | 0.7倍              |
| 配当(配当利回り)       | ¥0.00(0.00%)      |

#### Sector

|      |      |
|------|------|
| セクター | 情報通信 |
|------|------|

#### 財務指標(2026/03期予想)

|                |           |
|----------------|-----------|
| 売上             | 17,500百万円 |
| 売上高営業利益率(%)    | 2.9%      |
| 売上高EBITDA比率(%) | 9.1%      |

#### Management

|           |   |
|-----------|---|
| President | 内藤 裕紀   |
| URL       | <a href="https://drecom.co.jp/">https://drecom.co.jp/</a> |

免責事項につきましては、最終ページをご覧ください。



Integrity & Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

## 2026年3月期 第3四半期概要：『Wizardry Variants Daphne』1周年を迎える好収益回帰

ドリコムは2026年1月29日引け後に「2026年3月期 第3四半期決算」を発表した。四半期ベースで過去最高の売上高を計上し、第3四半期累計で営業利益・経常利益も黒字化を果たした。

10-12月期実績は、売上高5,062百万円（前年同期4,182百万円）、営業利益671百万円（同288百万円）、EBITDA894百万円（同434百万円）、経常利益657百万円（同275百万円）、純利益621百万円（同198百万円）となった。

概ね会社想定通りだった模様だ。自社配信タイトルで主力の『Wizardry Variants Daphne』は10月のリリース1周年イベントを順調にこなして成長を続けた（四半期売上高推移：前年3Q 21.6億円→前年4Q 24.8億円→1Q 23.0億円→2Q 20.5億円→3Q 29.7億円）。新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応が終わり、他社配信タイトルの運用施策が順調に推移している。新作立ち上げコストおよび不正課金対応が一服したこと、広告宣伝費の適正な運用体制が構築されたことも寄与している。コンテンツ事業において新作ノベル『汝、暗君を愛せよ』が「このライトノベルがすごい！2026」部門1位受賞し、重要なマイルストーンを達成している。

## 2026年3月期 通期業績予想は据え置き

2026年3月期連結業績予想は据え置かれている（売上高175億円、営業利益5億円、EBITDA16億円、経常利益4億円、親会社株主に帰属する当期純損失13億円）。また、未定であった配当は無配となった。

第3四半期までの推移を踏まえると、この通期予想は射程圏内にあると言えるだろう。主力である『Wizardry Variants Daphne』においては言語追加（2025年12月に韓国語を追加）およびコラボイベントが予定されているが、これが想定通りに好調に推移することが鍵になりそうだ。

なお、ゲームについては今期中に本開発開始の予定はない。リソースは『Wizardry Variants Daphne』の追加仕様に向けるとのことで、合理的である。

## 今後のポイント：通期決算で「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」に向けた新しい見通しがどのように示されるか？

同社の今後の戦略はスマホゲーム制作偏重から「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換を進めることにある。これによって従来手法のスマホゲーム開発リスクを縮小し、「Wizardry」ブランドを中心としたIP戦略によって収益基盤を強化しつつ、出版・アニメなどで自社IPを多面的に育成し是々非々で新作ゲームへの展開を行う事業体制に移行することになるであろう。従来よりもリスクを抑制しながら、安定的に成長を目指すことになり、投資家のリスクリターンの認識も良化することが予想される。

こうした文脈を踏まえて、当面の注目点を整理すると以下の諸点になる。

### 「Wizardry」ブランドを中心としたIP戦略が収益基盤の盤石化につながること

- 休眠ファンの掘り起こし、新規ファンの獲得、これらファンを「Wizardry」関連の多くのIPへ誘導すること
- 海外展開（『Wizardry Variants Daphne』）、コミック化（『Wizardry Variants Daphne』）、アニメ化（『ブレイド&バスター』）などが目論見通りに収益の盤石化につながること

### 既存運用タイトルの収益安定化が進むこと

- 運用コストの最適化、アプリ外課金の導入による収益改善

### コンテンツ事業の黒字化の道筋が見えること

- 出版（ノベル・コミック・webtoon）の順調な拡充、特にコミックの拡充
- アニメ化の進歩と出版・MD（マーチャンダイジング）との相乗効果の発現
  - 『エリスの聖杯』は2026年1月に放映開始
  - 今後アニメ化が決まっている『ブレイド&バスター』、『99回断罪されたループ令嬢』の放送決定

こうした展開の先には、スマホゲーム制作偏重から脱却し、「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への本格的な転換がある。これまで見た通り、すでにその布石は揃いつつあると言える。

通期決算発表の際、今後の新規ゲーム開発の方向性も含めた新たな中期成長戦略と財務目標が示されることを期待したい。



Integrity & Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

## 参考図表（同社決算説明資料より抜粋）

3. 中期的に目指す姿

### 中期的に目指す姿と進捗



「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換が進展

これまでの  
ドリコム

モバイルゲーム  
に強みを持つ企業



2026年3月期の進展

ゲーム  
(モバイル・PCコンソール)

出版  
(コミック・ノベル・webtoon)

アニメ

MD

テクノロジー  
(Web3、生成AI、AR、インフラ)

『Wizardry Variants Daphne』  
1周年&韓国展開

『汝、暗君を愛せよ』  
『このラノ』部門1位受賞

『エリスの聖杯』  
放送開始

ドリコムショップ  
他社IP商品展開

AI活用推進

中期的に目指す姿

エンターテインメント  
コンテンツ企業



3. 中期的に目指す姿

### IPを軸とした各事業領域の目的と主な取り組み



IPの保有、育成、収益化を目的とした展開を、当社内の各事業領域が連携し、素早く実現

IPを保有する

育てる

収益化する

①モバイルゲーム

②PC・コンソールゲーム

③出版（コミック・ノベル・webtoon）

④アニメ

⑤MD（マーチャンダイジング）

⑥SNS・コミュニティ

各領域を支え、進化させるテクノロジー活用（Web3、生成AI、AR、インフラ）

主な取り組み

①モバイルゲーム

- ・『Wizardry Variants Daphne』

- ・『Disney STEP』

②PC・コンソールゲーム

- ・『はらべこミーム』

- ・『デモンズナイトフィーバー』

- ・『Tokyo Stories』

③出版（コミック・ノベル・webtoon）

- ・『汝、暗君を愛せよ』、  
『このラノ』部門1位受賞

④アニメ

- ・自社出版原作アニメの放送開始

- ・他社出版原作1作品の放送開始

⑤MD（マーチャンダイジング）

- ・Wizardry IPのグッズ展開

- ・IPファン向けイベントの開催

⑥SNS・コミュニティ

- ・『悪魔王子と操り人形』



Integrity & Sustainability

2026年1月30日

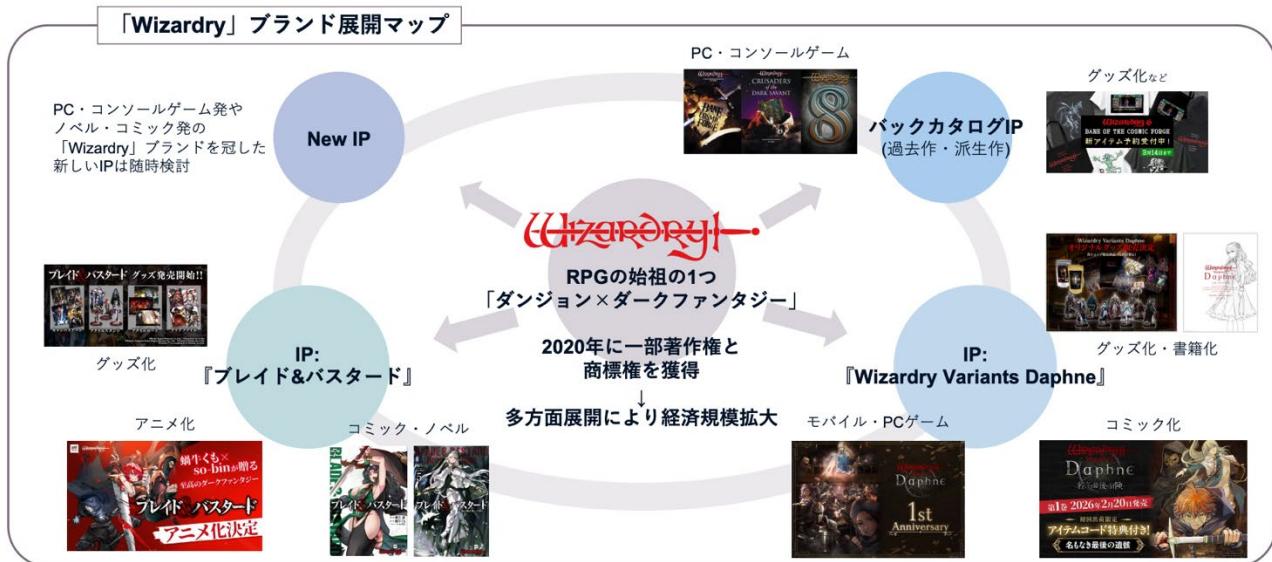
ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

### 3. 中期的に目指す姿

## 事例：「Wizardry」ブランドを中心としたIP戦略



人気作の一部権利を獲得した上で、様々な展開により休眠ファン掘り起こしと新規ファン獲得、経済規模拡大



### 3. 中期的に目指す姿

## 事例：出版・アニメ事業領域における進捗



出版領域では人気シリーズの創出が着実に進展。アニメまで一気通貫で展開する体制を構築





Integrity & Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

3. 中期的に目指す姿

### 事例：出版・アニメ事業領域における進歩



「このライトノベルがすごい！2026」（宝島社）にて【新作単行本・ノベルズ部門】の第1位を獲得



#### 小説『汝、暗君を愛せよ』刊行情報

- 著／本条謙太郎 イラスト／toi8
- 判型／四六判
- レーベル／DREノベルス 発行／ドリコム

▼作品紹介はこちら

<https://dacom-media.jp/drenovels/series/hanji>

- 『汝、暗君を愛せよ』は著者・本条謙太郎氏のデビュー作
- DREノベルスの新シリーズ1巻目として過去最高の予約数を記録、発売前重版も決定するほどの注目を集めていた
- 第1巻の刊行からわずか3ヵ月で「このラノ」新作単行本・ノベルズ部門で第1位を獲得
  - 当社が出版事業へ参入してから3年にして初の部門1位受賞



Integrity &amp; Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

## 財務データ（連結：四半期毎）

### 損益計算書（百万円）

| 決算期         | FY03/2022 | FY03/2023 | FY03/2024 | FY03/2025 | FY03/2026 |        |       | 通期会予   |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|--------|
|             |           |           |           |           | Q1        | Q2     | Q3    |        |
| 売上高         | 10,528    | 10,800    | 9,779     | 12,655    | 4,466     | 3,771  | 5,062 | 17,500 |
| 前年比         | -11%      | 3%        | -9%       | 29%       | 110%      | 99%    | 21%   | 38%    |
| 売上純利益       | 3,796     | 4,558     | 3,404     | 3,477     | 1,281     | 924    | 1,846 |        |
| 前年比         | -5%       | 20%       | -25%      | 2%        | 105%      | 177%   | 44%   |        |
| 売上純利益率      | 36.1%     | 42.2%     | 34.8%     | 27.5%     | 28.7%     | 24.5%  | 36.5% |        |
| 販売費および一般管理費 | 2,205     | 2,276     | 2,501     | 3,365     | 1,363     | 1,417  | 1,174 |        |
| 前年比         | 13%       | 3%        | 10%       | 35%       | 97%       | 143%   | 18%   |        |
| 営業利益        | 1,591     | 2,281     | 903       | 112       | -81       | -493   | 671   | 500    |
| 前年比         | -22%      | 43%       | -60%      | -88%      | -         | -      | 133%  | 346%   |
| 営業利益率       | 15.1%     | 21.1%     | 9.2%      | 0.9%      | -1.8%     | -13.1% | 13.3% | 6.1%   |
| 経常利益        | 1,541     | 2,192     | 793       | 53        | -107      | -509   | 657   | 400    |
| 前年比         | -24%      | 42%       | -64%      | -93%      | -         | -      | 139%  | 655%   |
| 当期純利益       | 807       | 1,159     | 104       | -1,035    | -1,799    | -563   | 621   | -1,300 |
| 前年比         | -50%      | 44%       | -91%      | -         | -         | -      | -     | -      |
| 当期純利益率      | 7.7%      | 10.7%     | 1.1%      | -8.2%     | -40.3%    | -14.9% | 12.3% | -7.4%  |

出所：会社有価証券報告書および会社IR資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note : 会予=会社予想。百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による

### 一株当たりデータ（連結）

| 決算期         | FY03/2021 | FY03/2022 | FY03/2023 | FY03/2024 | FY03/2025 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 発行済株式総数(千株) | 28,976    | 29,073    | 29,130    | 29,224    | 29,340    |
| EPS         | 57.0      | 28.3      | 40.7      | 3.6       | -36.1     |
| EPS 調整後     | 56.9      | 28.3      | 40.6      | 3.6       | -36.1     |
| BPS         | 132.9     | 159.1     | 195.7     | 196.3     | 162.5     |
| DPS         | 0.0       | 5.0       | 5.0       | 0.0       | 0.0       |

出所：会社有価証券報告書および会社IR資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note : 百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による



*Integrity & Sustainability*

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

### キャッシュフロー（百万円）

| 決算期             | FY03/2021 | FY03/2022 | FY03/2023 | FY03/2024 | FY03/2025 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 減価償却費           | 627       | 537       | 269       | 145       | 526       |
| 営業活動によるキャッシュフロー | 3,196     | 1,603     | 2,666     | -473      | 634       |
| 投資活動によるキャッシュフロー | -1,140    | -1,766    | -2,017    | -2,048    | -899      |
| 財務活動によるキャッシュフロー | 969       | -388      | 659       | 2,413     | -1,739    |

出所：会社有価証券報告書および会社IR資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note : 百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による

### 財務データ (%)

| 決算期           | FY03/2021 | FY03/2022 | FY03/2023 | FY03/2024 | FY03/2025 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総資産経常利益率(ROA) | 25.2      | 16.0      | 20.0      | 6.0       | 0.4       |
| 自己資本利益率(ROE)  | 55.0      | 19.4      | 22.9      | 1.9       | -20.1     |
| 自己資本比率        | 39.5      | 46.9      | 45.6      | 39.7      | 34.6      |

出所：会社有価証券報告書および会社IR資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note : 百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による



Integrity & Sustainability

2026年1月30日

ドリコム(3793) 2026年3月期 第3四半期決算レポート

## 免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により Global IR, Inc.が作成したものです。

本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。

本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客觀性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要な視点を Global IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。